

# 白山ユネスコエコパークが拡張 登録されました

3月19日(土)ペルー共和国の首都リマで開催された第28回ユネスコMAB(マブ)計画国際調整理事会において、白山ユネスコエコパークの拡張登録申請が承認されました。郡上市の白山ユネスコエコパークエリアは、白鳥町石徹白地区の一部が核心地域と緩衝地域となっていました。今回の申請が承認されたことにより、白鳥町の旧石徹白村と旧北濃村エリア、高鷲町全域が、移行地域に追加登録されることとなりました。

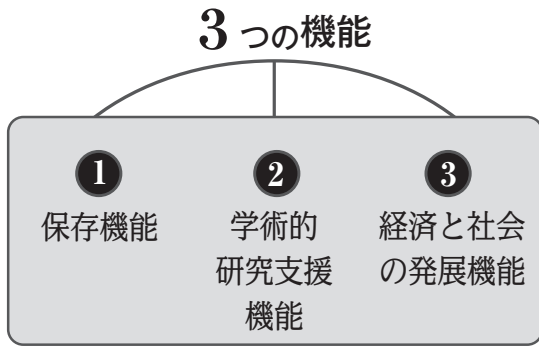
## ユネスコエコパークとは

ユネスコエコパーク(正式名:生物圏保存地域)とは、貴重な自然環境を守りながら、それを持続的に活用している地域を国際的なモデル地域として認定するものです。ユネスコ人間と生物圏(MAB)計画の一環として行われており、世界120カ国651地域(平成27年6月現在)が登録されています。日本では、白山を含め7地域が登録されています。

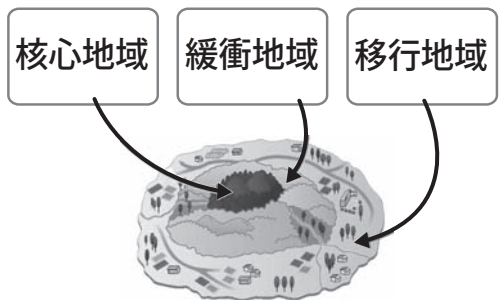
## 3つの機能と3つのゾーン

ユネスコエコパークには、3つの機能があります。①自然環境を守る「保存機能」、②調査・研究や教育活動を行う「学術的研究支援機能」、③自然環境と調和した地域の持続可能な発展を図る「経済と社会の発展機能」です。

この3つの機能を果たすた



め、ユネスコエコパークには3つのゾーンを設定することが義務付けられています。貴重な自然環境を厳格に保護する「核心地域」、核心地域を取り囲みながら、エコツーリズムなど限定的な利用しか行わない「緩衝地域」、人々が居住し、自然環境と調和した地域の持続可能な発



© 日本ユネスコ国内委員会

## 白山ユネスコエコパークは、昭和55年に登録されています

白山は昭和55年にユネスコエコパークに登録されましたが、当時は「経済と社会の発展機能」の考え方が弱く、「移行地域」もまだ義務ではなかったため、白山では設定されませんでした。しかし、近年は持続可能な発展の重要性が叫ばれるようになり、3つのゾーンをすべて設定することが義務となっています。

白山ユネスコエコパークでは、エリアに含まれる富山県南砺市、石川県白山市、福井県大野市・勝山市、岐阜県高山市・郡上市・白川村の4県7市村が連携し、「移行地域」を新たに設定する拡張登録の申請に取り組んできました。平成26年に国

内手続きに着手し、平成27年9月にユネスコに申請書を提出、そして平成28年3月に拡張登録が承認されました。

## 郡上市内の白山ユネスコエコパークの資源

このエリアは有数の豪雪地帯でありながら、多様な動植物の宝庫ともなっています。また白山の恵みを受けた暮らしが営まれ、この地域特有の白山文化が発展しました。白山ユネスコエコパークでは、この豊かな自然の保全と、持続可能な活用の調和(自然と人間社会の共生)をめざしています。郡上市内のエリアには、魅力ある資源として阿弥陀ヶ滝、石徹白大杉、蛭ヶ野高層湿原植物群落に代表される豊かな自然、白山文化を象徴する長滝白山神社と白山中居神社、冷涼な気候を活用した農産物(大根、とうもろこし、ニンジン、イチゴ等)などを多く有しており、今後これらを活用した地域づくりが期待されています。

## 白山ユネスコエコパーク拡張登録記念シンポジウムの開催

白山ユネスコエコパーク協議会では、今回の拡張登録を記念して、白山ユネスコエコパーク拡張登録記念シンポジウムを開催します。

国連大学サステイナビリティ高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットの招へいにより、フランス・パリのユネスコ本部から、Noeline Rakotoarisoa氏(ノエリン・ラクトアリソア)を基調講演者にお迎えし、ユネスコエコパークとは何なのか、これから私たちは何をめざしていくのか、といったことについて、みなさんと一緒に考えていきます。

申し込みは不要で、入場無料ですので、多くの方のみなさんのお越しをお待ちしています。

**日** 5月10日(火) 午後2時~午後6時  
**場** グランドホテル白山2階 グローリーホール(石川県白山市西新町152・7)



**問** 市長公室企画課  
67・1831